

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	都市計画道路3・4・17号線用地買収事業					
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	計画調整	係	課長名 神山 尚

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。				施策番号	4 - 4
【施策名】 道路・交通の整備				総合計画書 (ページ)	89
予算名	款 8 土木費	項 3 都市計画費	目 4 都市計画総務費	事業 1	都市計画道路3・4・17号線整備事業費

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 都市計画道路用地	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 都市計画道路予定地面積
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 円滑に道路工事ができるよう、計画的に道路予定地を取得する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 用地買収率 (用地買収済み面積/都市計画道路予定地面積)
	③ そのために何をしましたか。 土地所有者に用地取得の説明を行った。 地上物の補償額を把握するため、物件補償調査委託を行った。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 委託件数

2 指標の推移			単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	㎡	—	—	559.36	/	/
	成果指標	②の数値	%	—	—	0	/	/
	目 標	②の目標値	%	—	—	0	0	100
	目標設定の考え方		平成32年度の用地取得を予定しているため。					
活動指標	③の数値	件	—	—	2	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	0	0	991,263	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	991,263	
		特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)		円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.0	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	0	0	1,648,800		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	0	0	2,640,063		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	平成30年度から開始した。 計画的に都市計画道路を整備するために、事業予定地を確保することが目的である。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
特になし。		

仕 事 の 内 容	都市計画道路3・4・17号線用地買収事業					
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	計画調整	係	課長名 神山 尚

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	早期の整備が求められている。					

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	平成30年度からの事業であるためなし。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
事業趣旨や用地取得の手続きについて、土地所有者に説明を行った。						
(3)(2)を踏まえた今後の課題						
用地取得を所管する総務管財課と連携を図り、計画的に土地を取得できるよう、引続き丁寧に説明を行っていく必要がある。						

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など)					
	事業認可取得後、速やかに用地取得ができるように計画的に土地所有者との協議を進めていく。 そのために、用地取得の進捗状況の確認や補助金の要望等、全体的なスケジュールの管理を行っていく。					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	用地取得を行う総務管財課とスケジュールを共有し、進行管理を行っていく。					
(3)改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費を増加させる。	